

安来市立伯太中学校だより

Challenge! 考え行動する伯中生

独立 協力 技術

学校教育目標「自己を見つめ、他者と協働し、未来を拓く生徒の育成」

令和5年9月19日号



風からの応援合戦のひとコマ。各色、心を一つにして取り組みました！



閉会式後のミーティング（黄組）

「百花熱結」した体育祭

9月9日（土）、予定通り体育祭を行いました。各色の入場では、それぞれ大きな声で色組の団結力をアピールしていました。

今年の競技は、ネーミングも内容も、しっかりと考えられ、競技説明会では、あらかじめ執行部が撮影した動画を使ってわかりやすく説明するなど、事前の準備が丁寧に行われました。その甲斐もあり、予定時間通りスピーディに競技が進行し、楽しく盛り上がるものとなりました。

特に、「Mission Impossible?」（障害物リレー）や「借りたもん勝ち」（借り物・人リレー）は、用意する道具が多く、給食委員（用具係）は大変そうでしたが、見る人を飽きさせない展開となりました。

今年は学校関係者評価委員の皆様をはじめとする地域の方や、生徒の家族の方に多く参観いただきました。参観エリアいっぱい人が集まっている様子は圧巻でした。各種目で最後にゴールする生徒にもみなさんの拍手が送られたり、「借りたもん勝ち」で「帽子をかぶっている人」「日傘をさしている人」「腕時計をしている人」などのお題が出たときに快く協力いただいたりと、伯太中に関わる方の温かな心が感じられました。あちこちで一緒に語り、笑い合うコミュニケーションの場が生まれ、多くの方に来場いただける状況になったことを幸せに感じました。

生徒は、体育祭でも「Challenge!考え行動する伯中生」を意識し、準備から片付けまで、3年生を中心として自己の役割を果たすことができたと思います。一人ひとりが主体的に競技や応援を楽しみ、仲間とともに協力して体育祭を盛り上げました。閉会式後、各色のミーティングが終わった後、色組関係なく全員で声を出し、今年の体育祭を成功させたことを喜び合う姿は感動的でした。

体育祭名場面



少年の主張安来市大会

8月29日には、伯太中が主管校となり、「少年の主張安来市大会」を行いました。今年は進行を報道委員の生徒が、受付を3年生（希望者）が、会場準備を女子ソフトテニス部と野球部の生徒が行うなど、多くの生徒が運営に関わりました。

当日は、本校から2名の生徒が発表者として、他の生徒は聴衆として参加しました。審査を待つ間の「ミニ講座」では、山陰中央新報社の清水様から、情報の取り方や新聞の読み方等についてお話いただきました。

結果は、**田中**さんが優良賞、**高橋**さんが最優秀賞となりました。**高橋**さんは9月28日に江津市で行われる県大会に出場します。

伯太中を代表して出場した2人をはじめ、運営に携わった人、聴衆として熱心に参加した人みんなまで市大会を立派に開催できたことを喜びたいと思います。



伯中生が出かけます

9月20日～22日まで、2年生は修学旅行で関西に、3年生は職場体験学習で伯太町内22カ所の事業所へ出かけます。出会う人とのふれあいを大切に、普段の生活とは異なる視点で物事を見つめ、大いに学んでほしいと思います。

伯太地区更正保護女性会の皆様より図書費をいただきました。ありがとうございます。活用させていただきます。

安来市科学作品展 出品作品

今年も「安来市科学作品展」が開催されます。本校からは次の7作品を代表として出品します。

第1学年

- 「花火の色について」 田中博太郎
- 「ペットボトルで雲をつくる実験」 梅瀬菜央、梅瀬桃乃、福岡あいさ、前田未央
- 「塩が表す音の模様」 原田悠真



第2学年

- 「どうしたらキウイでゼリーが作れるのか」 高橋裕宗
- 「ダイラタンシーの秘密」 植平ゆな、松本美音
- 「野菜のDNAを取り出す」 長谷川ひより
- 「花の染まり方」 藤原莉空、藤原典叶



会場は井尻小です。9月23日（土）24日（日）のみの開催です。

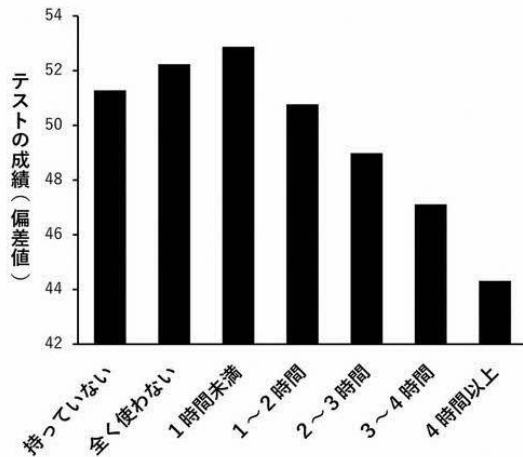
お車は体育館前かこども園駐車場におとめください。

学校からのたより、文書は、生徒のみなさんが読んだら必ず保護者の方に渡してください

UPDATE YOUR STUDY

1 先日3年生に紹介した、次の研究結果をシェアします。
 東北大学と仙台市教委は、毎年、全仙台市立小中学生約7万人を対象とした大規模調査を実施しています。

下のグラフは、インターネット接続ができる機器の使用時間（平日）と、テスト成績との関係を示しています。

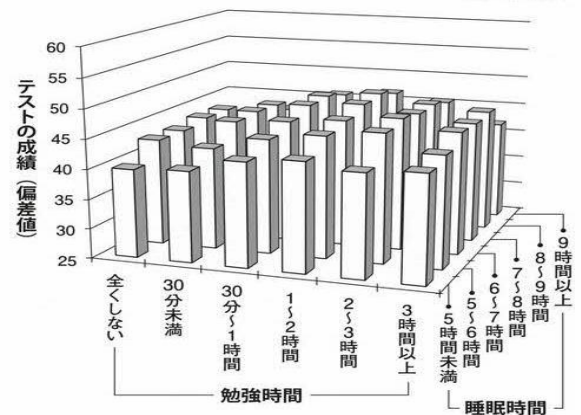
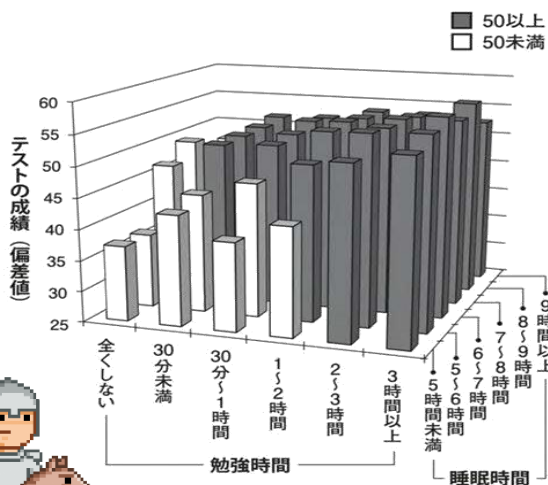


☞ グラフから読み取れること

- ① 機器を持っていないか、また、全く使わなければ、平均以上の成績になる可能性が高い
- ② 機器の使用が1時間未満の場合が最も学力が高い
- ③ 使用時間が長くなるほど、学力が低くなっている

2 次に、平日の機器の使用が「1時間未満」の子どもの勉強・睡眠時間と学力の関係を見てみましょう。

3 こちらは、平日の機器の使用が「3時間以上」の子どもの学習・睡眠時間と学力の関係です。



☞ グラフから読み取れること

- ① 機器の使用が1時間未満の子どもの多数が平均以上の成績となっている
- ② 3時間以上機器を使用している子どもは学力が低い
- ③ スマホ等を1日3時間以上使っている子どもは、勉強を頑張っているにもかかわらず、睡眠時間を確保していても、成績が平均より低くなっている

その他の調査でわかったこと

- ◆ 勉強中にアプリを3種類以上使用していると、3時間以上勉強しても平均の成績になっていない
 - ⇒ 勉強中にスマホ等を使うと、学習効果が打ち消される
- 努力を結果につなげるために、勉強中はスマホの電源を切って家族に預けるなど、スマホに注意が向かないようにし、集中して勉強するよう心がけるとGOOD!